

平成25年緑化推進運動功労者
内閣総理大臣表彰受賞者・功績概要

[個人]

森山 衛 (茨城県日立市)
遠藤 節子 (静岡県三島市)
山口 寿美子 入江 真喜子 三好 美喜子 (徳島県美馬市)

[団体]

北海道札幌南高等学校 (北海道札幌市)
能代市中川原地区連合自治会 (秋田県能代市)
サンデン株式会社 赤城事業所 (群馬県前橋市)
千葉瑞穂みどりの少年団 (千葉県千葉市)
大鹿村さくらの会 (長野県下伊那郡大鹿村)
刈谷市立小垣江東小学校 (愛知県刈谷市)
花ネット丹後 (京都府京丹後市)
小豆島町 (香川県小豆郡小豆島町)
石鎚水源の森くらぶ (愛媛県西条市)
「耶馬の森林」育成協議会 (大分県中津市)

[個人]

もりやま まもる
森 山 衛

(昭和11年5月14日生 76歳)

住 所 茨城県日立市森山町3丁目15番1号

<功績の概要>

同氏は、市民参加の公園づくりで平成10年9月から「イトヨの里泉が森公園」事業に参画し、計画から完成まで一貫してワークショップを運営、指導に当たるとともに、整備段階においても生育植物の移植、ゲンジボタルの生態保全のための水辺植生整備等の公園工事協力活動を企画、実施し、完成後には公園里親団体を結成させて市民主導の維持管理に携わるなど、日立市で初のパートナーシップによる公園整備手法を確立した。

また、「イトヨの里泉が森公園」に引き続いて同市の「赤羽緑地」、「池の川弁天池公園化」事業でも、市民参加の公園づくりで植栽計画、ビオトープづくりに関する講習の指導、普及啓発活動を行って完成に導くなど、同市の公園緑地整備事業に大きな功績を残した。

その後、まちづくりアドバイザーとして潮来市、久慈郡^{いたこし}太子町^{だいごまち}等県内各市町村の緑化計画や市街地整備計画に参画して活躍し、現在は日立市の諮問機関「日立市緑化審議会委員」に就任し、緑の保全と緑化の推進に大きく貢献している。

[団 体]

のしろしなかがわらちくれんごうじちかい
能代市中川原地区連合自治会

所 在 地 秋田県能代市中川原26番地487

代 表 者 会長 越中 武美

<功績の概要>

同会は、昭和47年の大洪水で破堤し、地区が多大な災害を被ったことを機に、「堤防は強く・人は住みよく・川は美しく」をスローガンに、昭和52年から地域住民によるクリーンアップ活動を行っている。

近年は、主な活動として、^{よねしろがわ}米代川のJR五能線米代川橋梁付近から約2kmの範囲において、年2回、大勢の地域住民が参加して清掃活動を行っている。

また、これまでに、自治会報「水とみどり」を作成・配布し、米代川の状況等の情報を提供するとともに、せせらぎ公園内の整備作業、コスモスロード整備、さくらづつみ整備など環境美化活動を実施し、堤防沿いには多くの人々が散策に訪れるようになっている。

同会の河川愛護意識の向上や河川環境美化の保全に対する積極的な取組により、中川原地区はモデル的な地域と評されている。

[団 体]

はな たんご
花 ネット 丹 後

所 在 地 京都府京丹後市丹後町久僧

代 表 者 会長 吉 井 久子

<功績の概要>

同会は、平成4年から京都府京丹後市丹後町の国道178号沿線において、四季折々の花づくり活動を行っており、此代地区^{このしろ}において5,000本の苗を育成、植栽している。

平成17年の組織化を機に、女性ばかりであった会員に男性も加わることによって活動の幅が拡大し、また、会員でない地区住民も沿道の所有地に積極的に植栽や花壇の草刈をするなど「おもてなしの心」が広がり、地域の活性化につながっている。

近年は高齢化の影響で退会者が多いことから、東京や大阪など全国から若者を中心としたボランティアの人々を受け入れ、植栽だけでなく海の清掃や稲刈りなど多岐にわたって活動し、都市住民とも交流を深めている。

このほか、植栽の知識に乏しいボランティアの人々に花の育て方を学習する機会を提供するなど、同会は「おもてなしの心」の普及に努めている。

[団 体]

「^や ^ば ^も ^り ^い ^く ^せ ^い ^き ^ょ ^う ^ぎ ^か ^い」
「耶馬の森林」育成協議会

所 在 地 大分県中津市豊田町14番地3

代 表 者 会長（中津市長）新貝 正勝

＜功績の概要＞

同会は、耶馬溪ダム・耶馬溪導水事業の完成により、福岡県北九州市・日豊本線沿線の市町へ安定的に送水されることとなった平成11年に、上・下流域をつないでいる水と森林の大切さを認識し、「「流域はひとつ」運命共同体意識を高めよう！」を合言葉に、大分県と福岡県の境を越えて交流を行うため設立された。

同会は、山国川流域の自然がもたらす豊かな水の恩恵を受ける関係市町等で組織されており、流域住民等が県境を越えて一体となり、耶馬溪ダム周辺での広葉樹の植樹活動や育樹活動を行っている。

同会の活動は15年目となり、毎年、耶馬溪ダム湖畔で講演会や広葉樹の植樹等を行い、関係市町等から多くの人々が参加している。

第14回「耶馬の森林」植樹の集いは、平成23年11月12日に開催され、関係市町から564人が参加して広葉樹（モミジ350本・ヤマザクラ150本）の植栽を行った。これまでの14年間の植栽は1.75ha・4,300本を超え、県の垣根にとられない上・下流域住民による「水源の森林」づくりは着実に進んでいる。